



5月19日(木)朝、高崎警察署と高崎市役所から7名の方々が来校し、正門前で交通安全指導をしてくださいました。

一年生の交通委員10名が約束した時刻に全員集まり、協力してくれました。初夏に向かう中でヘルメットはやや暑いと感じるかも知れませんが、交通委員のみなさんはしっかりと着用し、安全運転で範を示してくれました。

前号で予想したことが不幸にも当たってしまい、5月の連休あけに交通事故が多発しています。まだ比較的軽微な事故かも知れませんが、勉強に部活動にと忙しくなっており、これから中間考査に臨むということを考えると、さらに疲労が蓄積し注意力が散漫になることがたいへん心配です。もう一度みなさん自身の生活を見直してみてください。

ヘルメットには大切な頭部を守るだけでなく、気持ちを引き締める効果も大いに期待できます。一日でも早く準備をして着用してほしいと思います。

『自転車は車両』です。常に緊張感を持って運転しましょう。

もしも事故に遭遇してしまったらどうする？

- ① 相手の名前、連絡先を確認する。車であればナンバーも記憶しておく。
- ② その場ですぐに連絡する。(スマホの出番!) 保護者等に、学校に、警察に。
- ③ 当事者だけでその場で話をして片付けることは避けましょう。

下の図X・Yを見て、あなたは何を思いますか？



図Y

図X

「交通安全教室」感想文　　今回も優秀作品を3点選びました！　以下は抜粋です。

自分で自分の身を守ることの大切さについて改めて感じることができました。車には死角があるということを知り、自転車の存在に気づいているか、アイコンタクトをとることを大切にしたいと思います。急いでいるときも、事故に遭ってケガをするより、遅れた方がマシだと思うので、左右確認や一時停止は常に守りたいと思います。（1年生 N. Sさん）

自転車に乗るというより自転車を運転しているという意識を持つべきだと思います。普段の生活のなかで朝の準備を早くして余裕を持って一日を過ごせるよう気をつけたり、交差点などでは周りをよく見たりして、基本から自分の行動を見直すことで事故を防ぐことができるのではないかと思います。（2年生 A. Yさん）

「自転車は車両」という言葉を忘れずに、自転車に乗っている私たちが被害者になるだけでなく加害者にもなり得ることを忘れずに使っていきます。便利な道具ですが、その分、使い方を間違ってしまったら交通ルールを破ると本当に危険になってしまうので気をつけます。ヘルメットを着ける大切さも知ることができ、一つのヘルメットだけでこんなにもケガの程度が違うのかと驚きました。（3年生 N. Mさん）

関東大会、中間考査、3年模試、英検、越えたら青翔祭！

5/30（月）、5/31（火）、6/1（水）は10分短縮授業6コマののち、14:20～15:20（60分）をクラス企画の準備に充てます。15:20に帰りSHR、その後19:00施錠まで準備可能。

6/2（木）終日準備、6/3（金）・6/4（土）青翔祭、6/6（月）代休という日程です。

下校時の服装　　コロナ対策のため、運動部員については体育着を許可してきましたが、青翔祭の準備期間ではそれ以外の生徒でも体育着での下校を認めます。ただし、青翔祭終了後からは、部室での過ごし方に一層工夫を促しながら制服下校に戻していく予定です。